

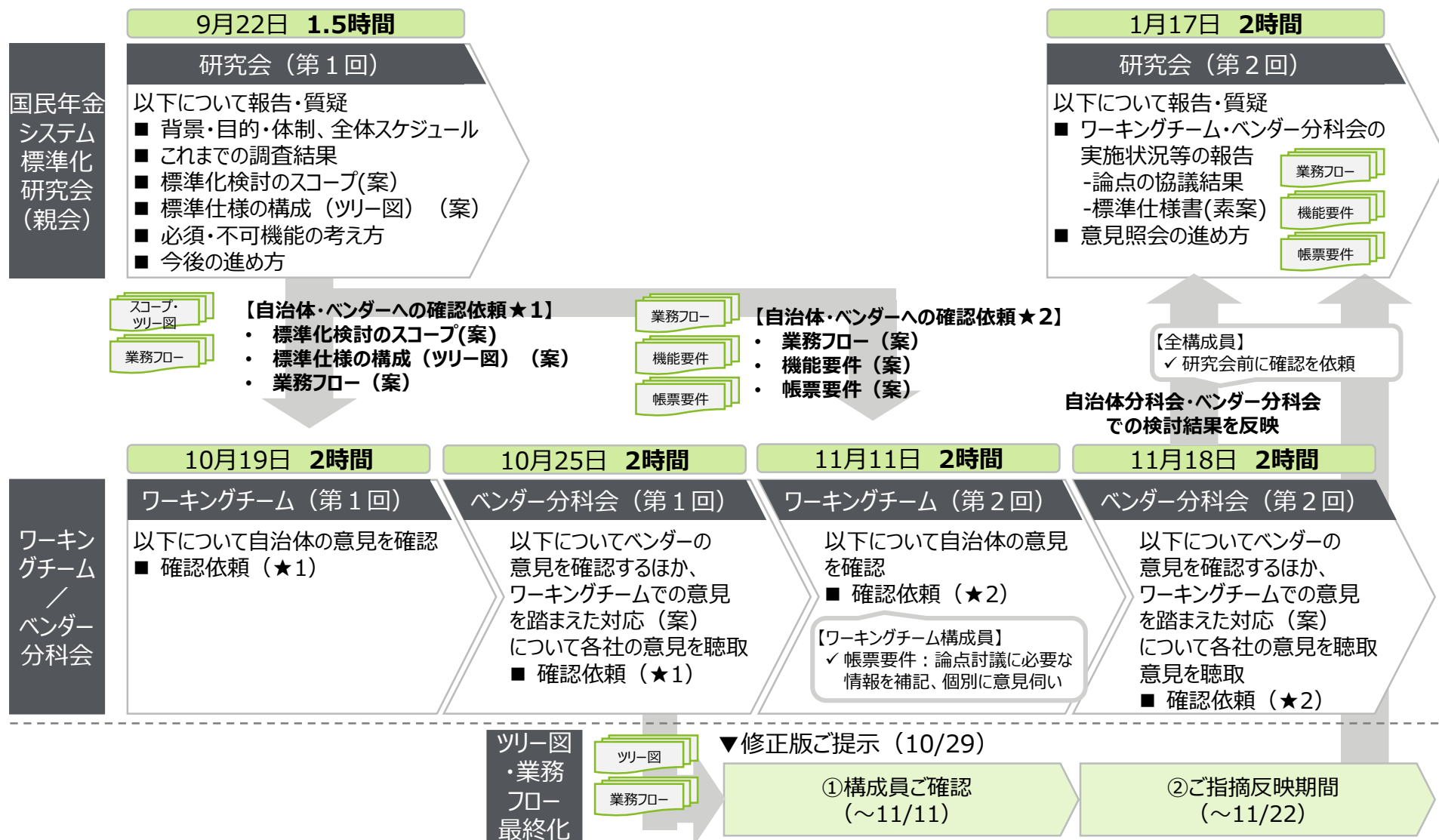
資料 3

今後の進め方

1. 今後の予定（令和3年度）

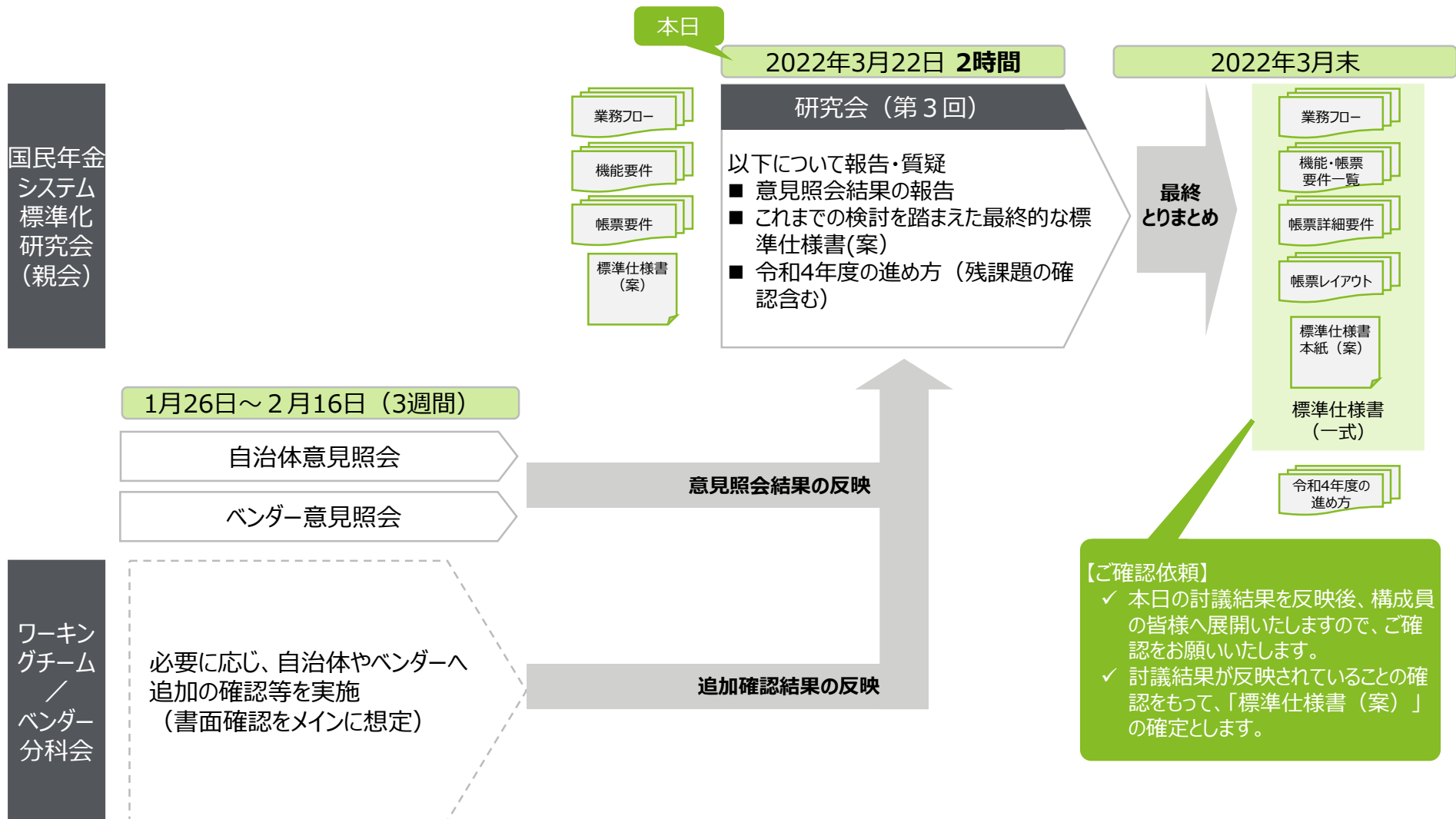
1. 今後の予定（令和3年度） 1/2

本日の討議結果を踏まえ、年度内に標準仕様書（案）を最終化し、構成員の皆様に展開するとともに、厚生労働省年金局へご提示します



1. 今後の予定（令和3年度） 2/2

本日の討議結果を踏まえ、年度内に標準仕様書（案）を最終化し、構成員の皆様に展開するとともに、厚生労働省年金局へご提示します



2. 令和4年度以降の進め方

2. 令和4年度以降の進め方

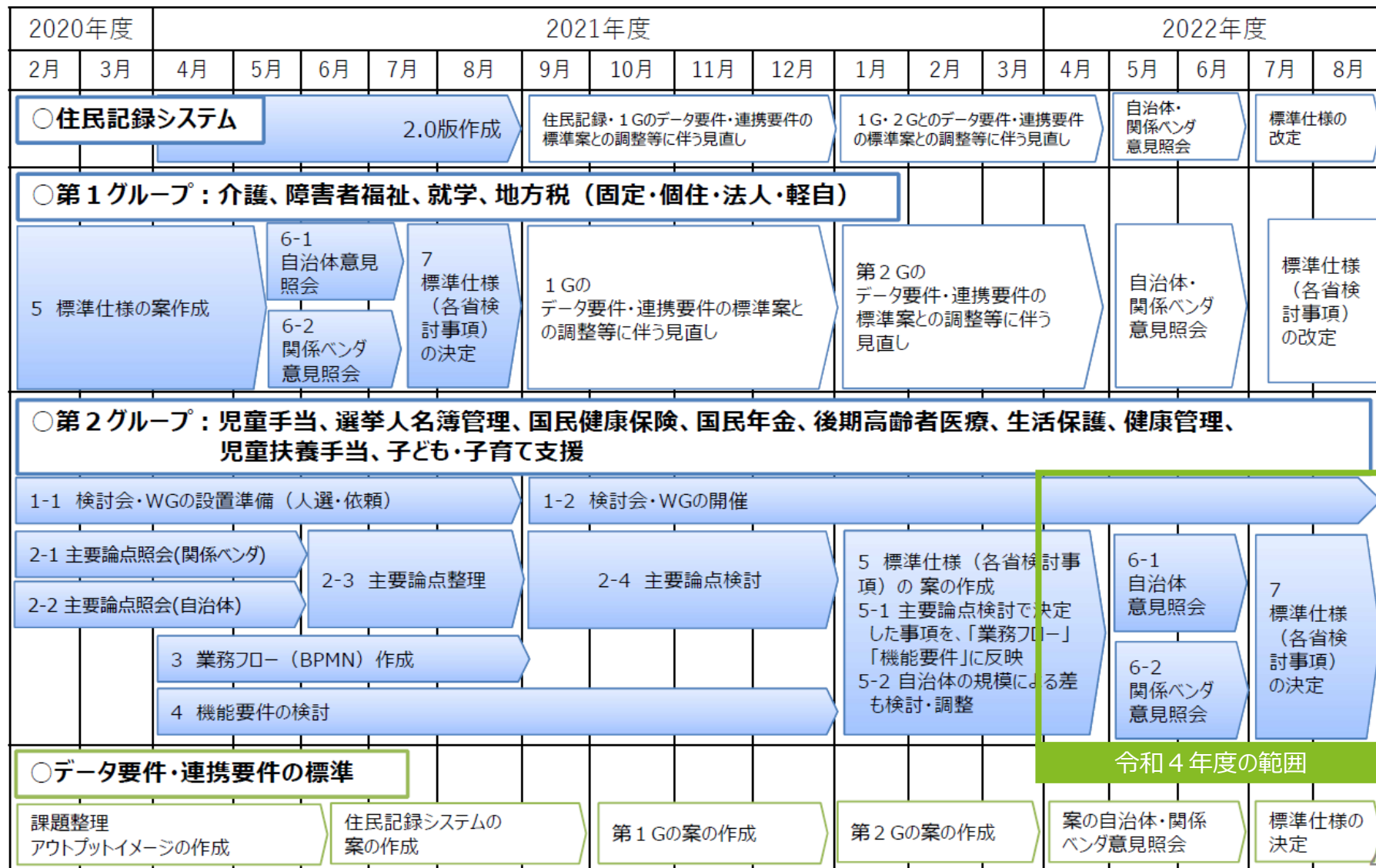
2-1. スケジュール（イメージ）

デジタル庁より示されている標準仕様策定スケジュールに沿って、令和4年8月までに標準仕様書第1版を定めます
その後、令和4年9月以降、中長期的課題や法改正、制度変更への対応等を図るため、標準仕様書の改訂を進めます

令和4年度以降のスケジュール（イメージ）

	令和4年度				令和5年度	
	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	4－6月	7－9月
マイルストーン	▼標準仕様書（1.0版）決定（8月末）					
標準仕様書（1.0版）	意見照会準備	意見照会	●研究会 意見照会結果まとめ 標準仕様書（1.0版）の決定			
標準仕様書改版	標準仕様書 改版案の検討 WT・ベンダー分科会・研究会の開催 意見照会（改版する場合） 改版標準仕様の決定（改版する場合）					
システム開発（事業者）	標準準拠システム開発 （ガバメントクラウド上でのサービス提供前提）				標準仕様書改版への対応	
自治体	ガバメントクラウド利用地方公共団体 順次拡大					
	国民年金等の標準準拠システムへの移行（準備）					
（参考）標準化共通	データ要件・連携要件案の自治体・関係ベンダー意見照会	標準仕様の決定				

(参考) 今後の標準仕様策定スケジュール



出所：「地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化について」（2021年12月 デジタル庁）

2. 令和4年度以降の進め方

2-2. 令和4年度以降の検討課題（申し送り事項）

標準仕様書（第1版）には取り込まないこととした検討事項は申し送り事項とし、中長期的に検討すべき課題として、令和4年9月以降、新たな研究会体制のもと、可能なものから検討を進めることを想定しています

令和4年度以降の検討事項（申し送り事項）

区分		申し送り事項	
業務フロー	所得情報提供	① 年金機構における個人番号連携による所得情報取得運用への対応	・ 年金機構が個人番号連携により所得情報等を把握する運用とするか（連携開始時期の目途が立ち次第、標準仕様に反映する）
	DV管理	② 業務の横断的整理と機能要件への反映	・ 自治体におけるDV管理を横断的に整理する所管を確認した上で、国民年金側に求められる業務上の対応の有無を確認し、必要な機能を標準仕様に反映する
機能要件	他システム連携	③ 年金機構側のシステムとの連携	・ 年金機構が管理する情報の国民年金システムにおける取り扱い（登録対象情報の整理統合、政府全体のデジタル化方針を踏まえた情報連携のあり方の検討継続）
	共通	④ オプション対象帳票に対する帳票詳細要件の定義	・ オプション帳票として、帳票要件（項目及びレイアウト）を定義し、標準仕様書改版に盛り込む ※様式が定められていない外部帳票や内部帳票を含む
帳票詳細要件	共通	④ オプション対象帳票に対する帳票詳細要件の定義	・ オプション帳票として、帳票要件（項目及びレイアウト）を定義し、標準仕様書改版に盛り込む ※様式が定められていない外部帳票や内部帳票を含む

※ このほか、データ要件・連携要件側の確認結果を国民年金システム側の標準仕様書に反映する必要がある場合には、事務局において関係部局等と内容を調整した上で、変更後の標準仕様書を構成員に対して報告する予定